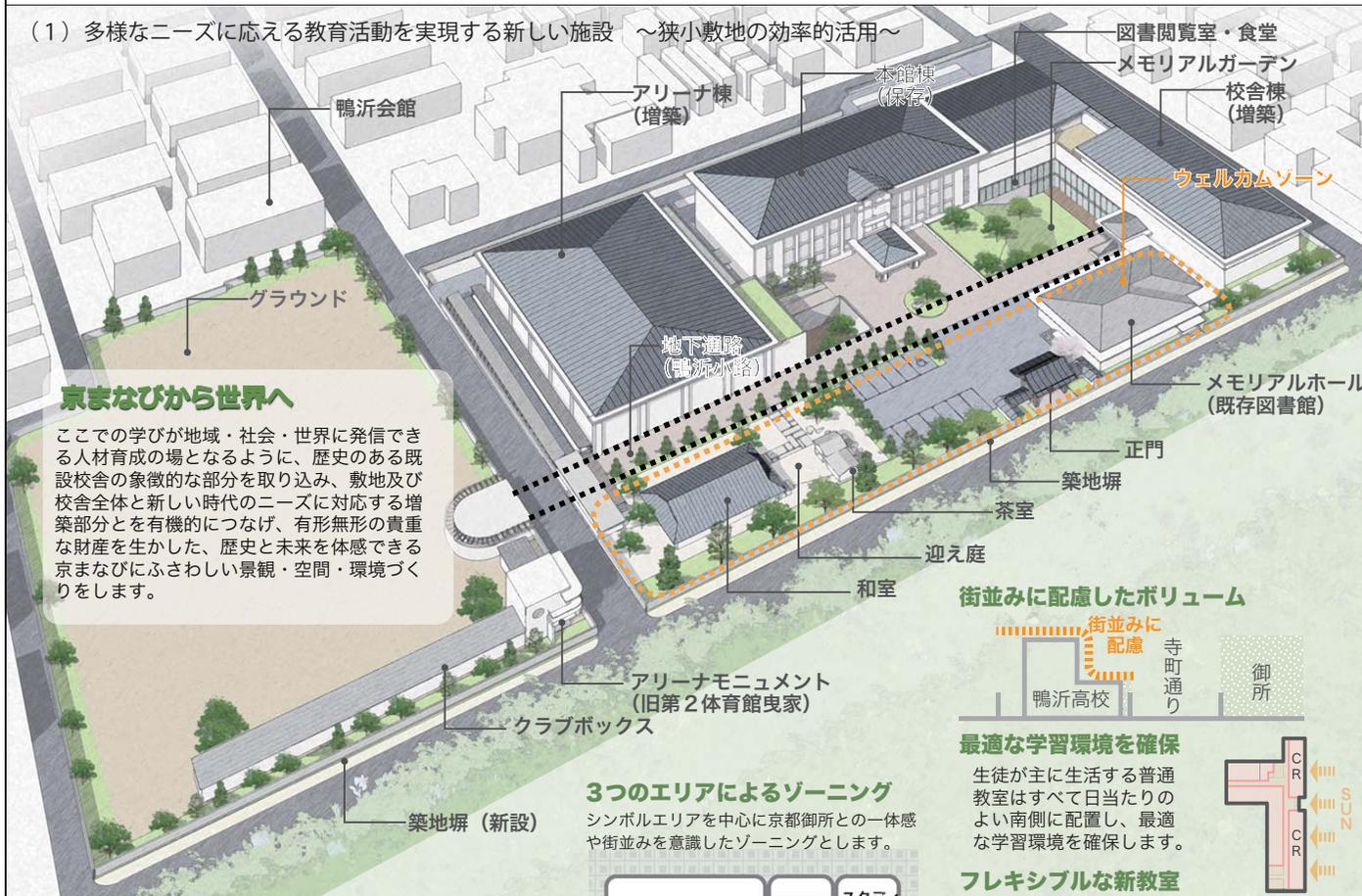


提案課題2 業務実施方針説明書

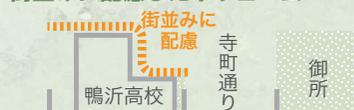
(1) 多様なニーズに応える教育活動を実現する新しい施設 ～狭小敷地の効率的活用～



京まなびから世界へ

ここでの学びが地域・社会・世界に発信できる人材育成の場となるように、歴史のある既設校舎の象徴的な部分を取り込み、敷地及び校舎全体と新しい時代のニーズに対応する増築部分とを有機的につなげ、有形無形の貴重な財産を生かした、歴史と未来を体感できる京まなびにふさわしい景観・空間・環境づくりをします。

街並みに配慮したボリューム

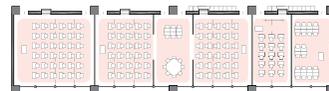


最適な学習環境を確保

生徒が主に生活する普通教室はすべて日当たりのよい南側に配置し、最適な学習環境を確保します。

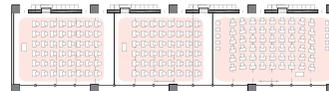
フレキシブルな新教室

- パターン1
- ・サブユニット：20人前後までの小人数/小講座に対応
  - ・標準ユニット：36人までの普通教室/通常講座に対応し、サブユニットをアドスペースとした多角的授業にも対応可



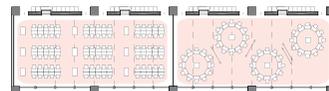
パターン2

- ・拡張ユニット：48・54人の拡張講座に対応



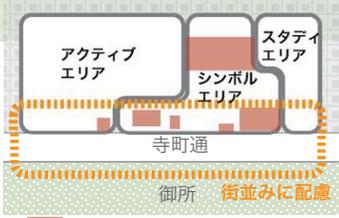
パターン3

- ・ワークショップ：50～90人前後までの総合学習に対応



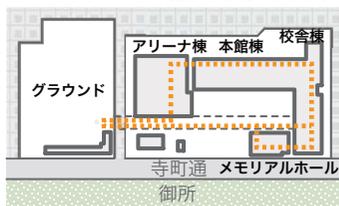
3つのエリアによるゾーニング

シンボルエリアを中心に京都御所との一体感や街並みを意識したゾーニングとします。



回遊性のある配置計画

敷地全体に回遊性を持たせることで多様なコミュニケーションの生まれる場とします。



■シンボルエリア

近世から近代に渡る建築遺産を、移築・減築・曳家等の手法を用いて再利用し、歴史に学ぶ鴨沂高校の伝統を継承するエリアと位置付けます。140mに渡る京の表通りの顔を形づくり、京都御所と一体となった潤いのある通りをつくります。

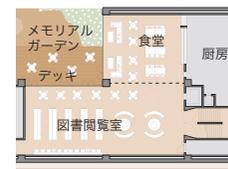
■スタディエリア

本館南側に増築する形で、昇降口から普通教室、特別教室を一体整備するエリアです。旧普通教室棟のイメージを踏襲する佇まいとなるように注意を払いながら、新しいニーズに対応できる機能を盛り込んでいきます。サンクンガーデンを生かした開放的な地下室利用も提案します。

■アクティブエリア

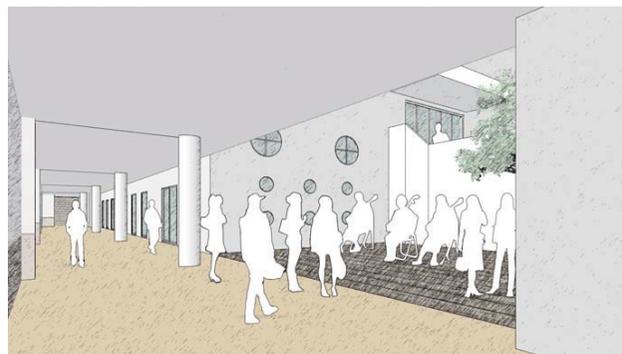
北グラウンドから旧特別教室棟跡に新設されるアリーナ棟を含むエリアです。屋内プール、武道場も一体整備するアリーナは、既存地下通路を生かしグラウンドと結びます。また、このエリアには災害時の地域支援の役割を持たせています。

図書閲覧室・食堂・メモリアルガーデン



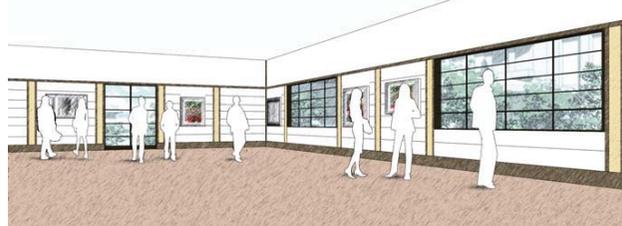
- ・利用時間が限定される食堂と図書閲覧室を隣接する計画とし、昼食時以外は一体的な利用ができるようにすることで、コミュニケーションの促進を図ります。
- ・メモリアルガーデンやデッキに面するように配置することで、開放感のある空間とします。

鴨沂小路・オープンデッキ・スクールギャラリー



- ・本館棟や図書館を含む創建当初からのシンボルエリアの佇まいに配慮するとともに、各棟をつなぎ回遊性、利便性をもたせた地下通路(鴨沂小路)を設けます。
- ・鴨沂小路にはクラブボックスやオープンデッキ、スクールギャラリーを設け、コミュニケーションや自主活動を促す仕掛けとします。

メモリアルホール



- ・既存図書館は本館棟を臨めるメモリアルホールに用途変更を行います。
- ・鴨沂アーカイブとして収蔵絵画の展示や、国際交流などに活用します。

提案課題2 業務実施方針説明書

(2) 歴史的・文化的価値の継承～歴史と伝統を受け継ぎ、新しい時代に対応～

過去と未来の対話が育む学びの場づくり

1. 「教育の歴史と学び」

最古の公立女学校を基とする教育の歴史を具現している和室ならびに茶室を修復し、「和の学び」の場とします。

2. 「街並みの継承と充実」

創建当初の京都御所寺町通りとの一体感のある佇まいに近づけ、築地塀、正門を修復整備するとともに緑化を施し京都御所と一体となった潤いのある街並みとします。

3. 「建築遺産の取り込み」

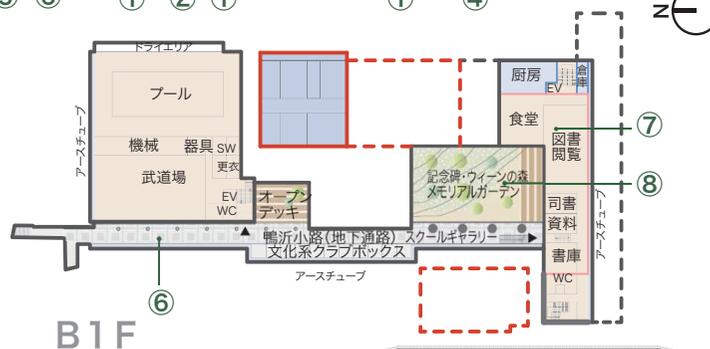
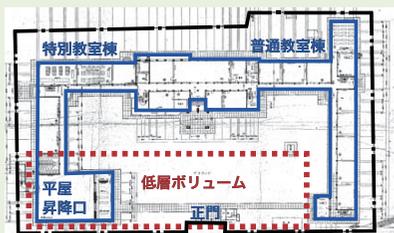
モダニズムを基調として和風が加味された近代建築群を評価し、「保存し使い続ける」姿勢で増築部分と一体となる全体整備を行います。



開放感のある創建時の佇みに倣う

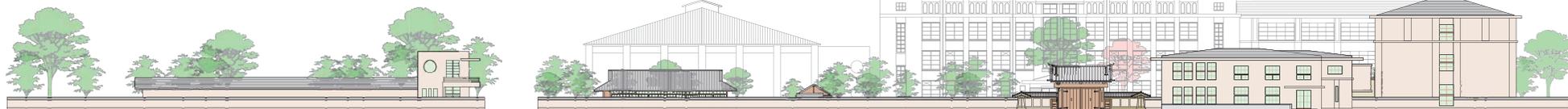
第1体育館も図書館棟もないほぼシンメトリーに近い全体構成の中で、寺町通りに対しては特別教室棟の出を抑え、平入りの屋根を持つ平屋の昇降口とした配置

ウェルカムゾーンを低層のボリュームで構成し、京都御所を中心とした街並みに溶け込ませる



正門・本館の軸線、前庭を抱えた全体構成、京都御所との一体感に敬意を払いながら数々の建築遺産を継承した空間の多様性の中で学ぶことができる教育の場とします。

- ① 正門と築地塀の保存、和室・茶室を復元し迎え庭に移築。グラウンド側は築地塀に改築。
- ② 第1体育館を解体し、創建当初のボリューム感に近づけ腰掛待合、舞台、庭と露地整備。
- ③ 校舎本棟は車寄せを含む中央本館部分を残し全体を減築し、増築新棟との一体化利用。
- ④ 図書館棟はメモリアルホールとして保存改修し、地域公開も視野に入れ、所蔵品の展示を中心とした鴨沂アーカイブとして再利用。
- ⑤ 第2体育館は部分保存の上、ウェルカムゾーンに曳家し、景観整備へ有効利用します。
- ⑥ 地下通路と上屋は耐震補強の上、新設地下通路と結び、南北の敷地を有機的につなげます。
- ⑦ 解体建物の記憶を新設建物に投影したデザインとし、学校全体を調和のとれた環境に整備。
- ⑧ 樹木は移植も含め可能な限りの保存に努め、思い出のある記念碑はすべて再配置します。
- ⑨ 解体建物の一部は内装材として再利用し、永く記憶にとどめる工夫をします。



寺町通りからの連続立面イメージ

提案課題2 業務実施方針説明書

(2) 歴史的・文化的価値の継承  
～歴史と伝統を受け継ぎ、新しい時代に対応～

1. 耐震改修の可能性

本館棟両翼部を減築した中央部分のみの耐震性能については、部材強度の調査を初めとした調査/精査/再計算が必要です。

・平面形が単純化されることで安定した建物形状となる。

・両翼部に比較して中央部分は桁方向のスパンが短く柱の数が多いため、両翼部を切り離した場合、相対的にコンクリート断面量が増大する。

・Y方向については、既存耐震壁が配置されており、比較的補強量が少ないと思われる。

・X方向については、耐震壁が存在しないが短スパンのフレームが連続した軸組である。

2. 耐震補強の方向性

外観デザインに極力影響を与えず、また、バランスの良い耐震補強とする。

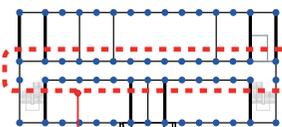
・Y方向の耐震性能が不足する場合は、既存耐震壁の壁厚を増すなどの方法で既存耐震要素の性能向上を図る。

・X方向については中央2列の軸組に耐震性能を持たせるため、最新の技術を用い軸組の靱性と耐力の向上を図る。

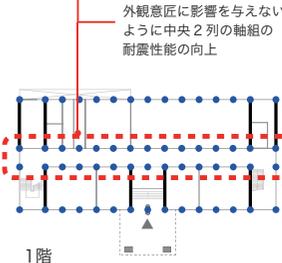
・講堂部分については、屋根トラスと柱ジョイント部分のディテールならびに強度を精査し、必要に応じて補強を行う。また、水平構面での剛性向上のためブレース等の増設を計画する。場合に応じて、柱補強も視野に入れる。



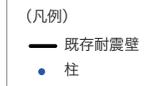
3階



2階



1階



(凡例)

(3) 環境・災害対応、安全・安心な教育環境

「かものほとり」という意味を持つ鴨沂の名にふさわしく、自然に寄り添う学校づくり

**環境** エコスクールとして環境負荷低減の他に、廃棄物処理までを視野に入れたゼロエミッションスクールを目指し、生徒・保護者・地域の環境教育の場としての学校づくりを提案します。

**災害** 地震、火災にも強く、地域災害にも頼りになる防災拠点を目指します。

**教育** バリアフリーを基本とした校舎内外での安全・安心を確認した環境をつくります。

教育 通学環境2

交通量の少ない場所で自転車の通用口を設けます。

災害 拠点設備

災害拠点機能として、浄水機能付プール、自家発電機、防災倉庫を備えます。

災害 被災対応1

アリーナ、グラウンドを一体とし、災害発生時の避難受入れと支援活動を容易にします。

環境 自然利用1

京都御所と一体となるグリーンフロントを形作ります。

災害 インフラ

太陽光・太陽熱利用、地熱利用、浄水利用などをアリーナ等に優先し、被災時に有効活用します。

災害 被災対応2

明確にゾーニングを行い、学業再開時の混雑を避ける交錯しない動線計画とします。

災害 災害飲用

緊急遮断弁付の受水槽に災害用給水蛇口を設け、災害時にも緊急利用します。

環境 自然利用2

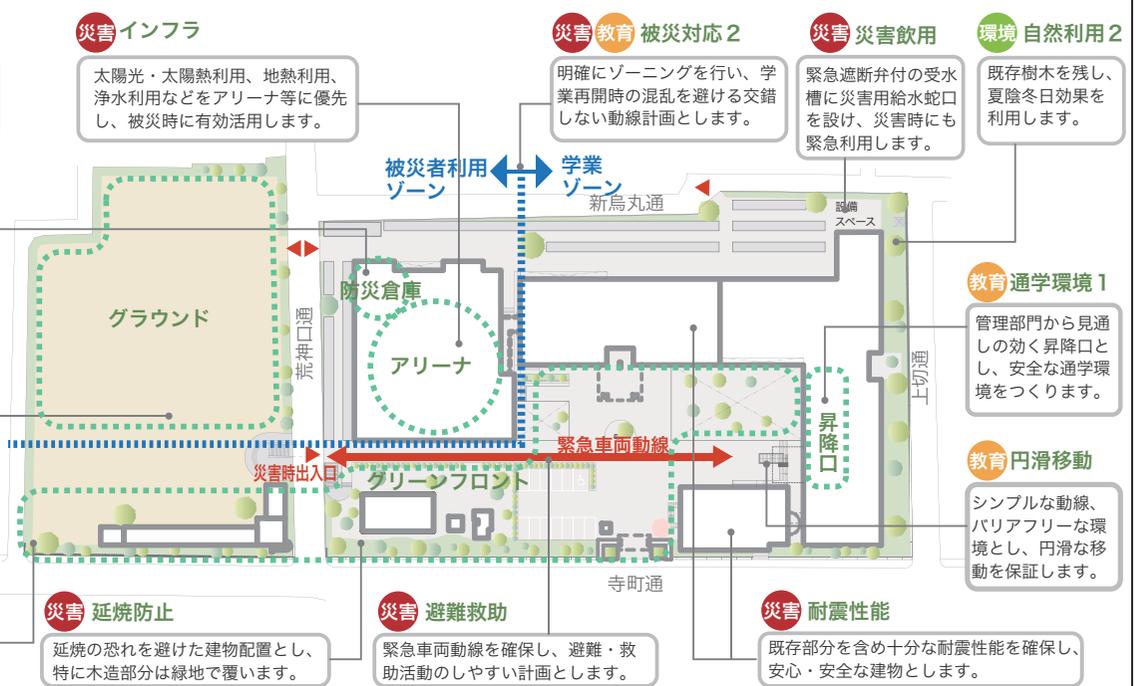
既存樹木を残し、夏陰冬日効果を利用します。

教育 通学環境1

管理部門から見通しの効く昇降口とし、安全な通学環境をつくります。

教育 円滑移動

シンプルな動線、バリアフリーな環境とし、円滑な移動を保証します。



災害 延焼防止

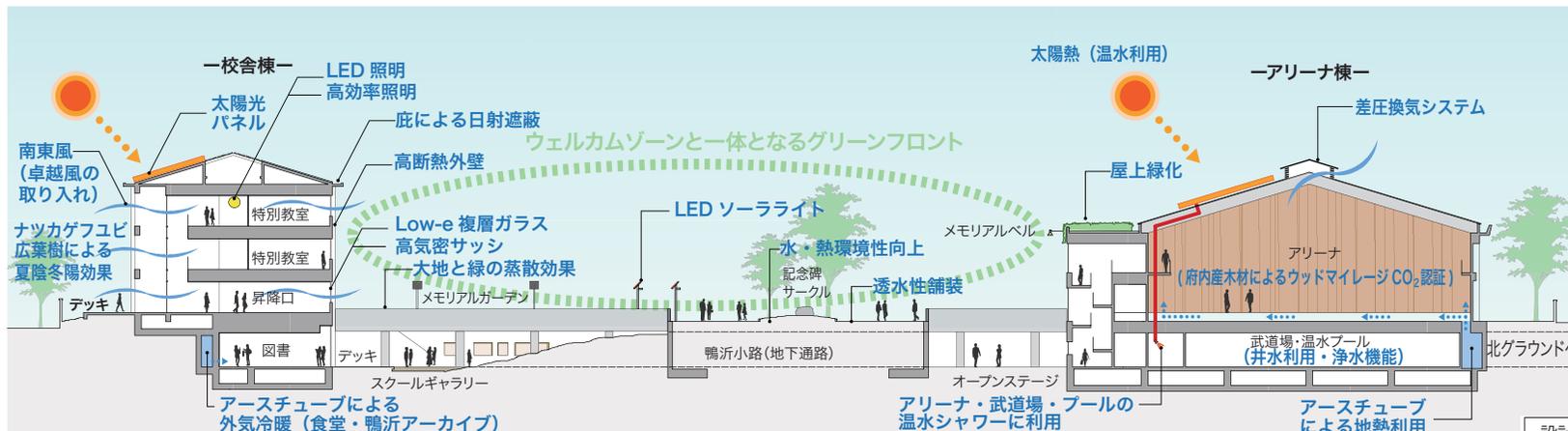
延焼の恐れを避けた建物配置とし、特に木造部分は緑地で覆います。

災害 避難救助

緊急車両動線を確保し、避難・救助活動のしやすい計画とします。

災害 耐震性能

既存部分を含め十分な耐震性能を確保し、安心・安全な建物とします。



－ 実現可能なエコアイテム －

建築計画	緑化による負荷削減	軒庇による日射遮蔽	高気密サッシ	高断熱外壁
	Low-e 複層ガラス	自然採光 自然換気	散水による打水効果	エコ素材
自然力	井水利用	雨水貯留 中水利用	外気冷房 地熱利用	太陽光 太陽熱
	アースチューブ	デマンド監視	LED照明	高効率照明
設備計画	節水型機器	生減型生ゴミ処理	人感センサー	昼光補正制御